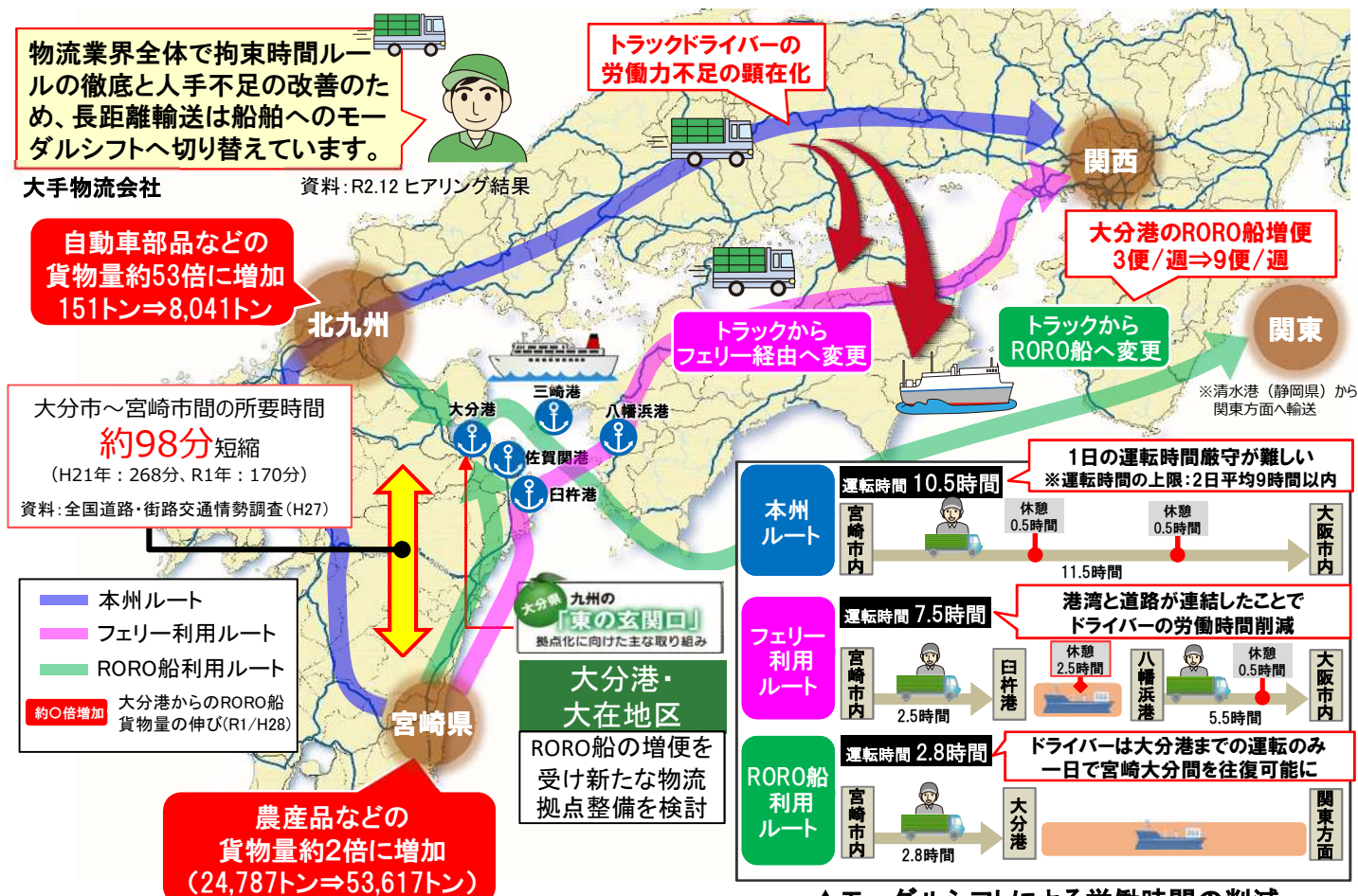


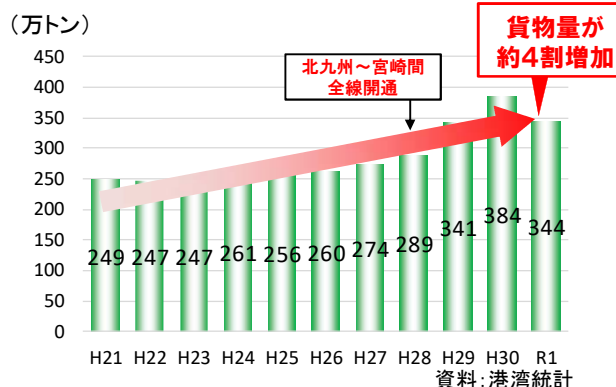
港湾との連結によりトラックドライバーの労働改善に寄与

- 近年、トラックドライバーの人手不足などにより長距離物流の課題が顕在化。
- 東九州道の開通による北九州や宮崎県方面の道路と港の連結により、九州の東の玄関口として大分港等を物流拠点としたモーダルシフトが促進。
- これにより、関東方面へのRORO船利用促進や四国を經由した新たな物流ルートが形成され、トラックドライバーの人手不足改善や九州から都市圏への安定した物流を支援。

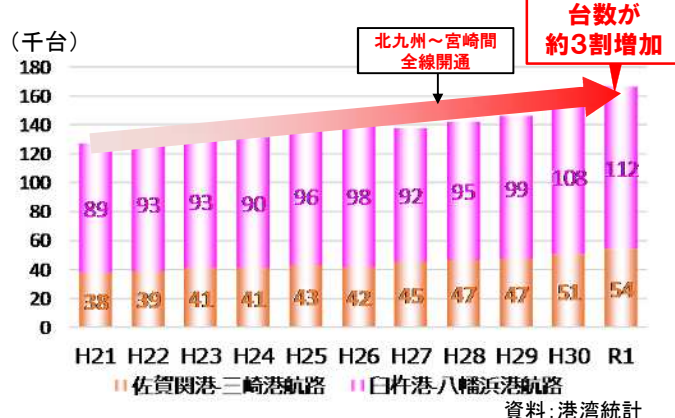


▲モーダルシフトによる労働時間の削減

■大分港コンテナ・シャーシ国内貨物量



■九州～四国間の大型車航送台数



東九州道開通に合わせて、H28年に大分港～清水港を結ぶ航路を開設しました。開通後は、北九州方面からの自動車部品や宮崎方面からの農産品などの輸送が増加しています。

RORO船運航会社

資料：R2.12 ヒアリング結果

※RORO船：貨物を積んだシャーシ(荷台)を輸送する船舶

東九州道の開通により、宮崎、大分方面の多岐に渡る品目について四国経由のフェリー輸送が増加しました。

フェリー運航会社

資料：R2.12 ヒアリング結果